

月刊 工連 ニュース

OKINAWA INDUSTRIAL FEDERATION NEWS



沖縄県産品マーク

- 第38回沖縄の産業まつり開催
- 「元気カンパニー」イトサン(株)
- 地理的表示法に関する説明会
- 第50回琉球新報賞 贈呈式

新たな潮流を
この沖縄から興す

2014
11月号
Vol.600

みなさんの食卓に
おいしい幸せを
お届けします



もちっと食感



城そばセット



せいたくごぜん
賛匠御膳 沖縄そば



オキコラーメン



シーサーがっぱい



紅いもころころ

おいしい幸せ

オキコ

<http://www.okiko.net>

contents

- 2~4p ▶ **第38回沖縄の産業まつり開催**
美ら島の 魅力がギュッと 県産品
- 5p ▶ **第38回沖縄の産業まつり 受賞商品の紹介**
●第43回沖縄県発明くふう展
●平成26年度沖縄県推奨優良県産品
- 6・7p ▶ **第38回沖縄の産業まつり 協賛企業**
キラリ! 元気カンパニー「沖縄の北極星 ニュファブシ」
- 8・9p ▶ **「活」にこだわり地域の魅力発信**
イトサン株式会社
- 10p ▶ **沖繩のものづくり産業を支える 縁の下の力持ち**
ちばりよ~県産品
沖縄オートメーション株式会社
- 11p ▶ **地理的表示法に関する説明会**
沖縄総合事務局
- 12p ▶ **平成26年度 工学部後援会総会 開催報告**
琉球大学工学部後援会からのお知らせ
- 13p ▶ **2014沖縄ポリテックビジョン 開催のおしらせ**
沖縄職業能力開発大学校
- 14p ▶ **「航空技術者プログラム」プレス発表**
沖縄高専だより
工業技術センターだより
- 15p ▶ **お米やパスタに便利な水切り器の開発 削り出しによる試作品の製作**
トビックス
- 16p ▶ **第50回琉球新報賞 贈呈式 会員募集のご案内 会員の皆様へ**
平成26年度 中小企業者のための 沖縄県制度金融のご案内
沖縄県商工労働部

2014 October 10 工連日誌

- 10月定例執行部会
●時間/10:00~11:50
●場所/ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー
平成26年度 第3回理事会
●時間/12:00~13:30
●場所/ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー
- 10日(金) 第38回沖縄の産業まつり派遣職員説明会
●時間/11:00~11:30 ●場所/沖縄産業支援センター
第38回沖縄の産業まつり屋内出展者説明会
●時間/14:00~15:00 ●場所/沖縄産業支援センター
- 23日(木) 第8回学校と産業界の交流事業
●時間/19:45~20:45 ●場所/県立那覇工業高等学校
- 24日(金) 第38回沖縄の産業まつり開催(~26日)
●時間/10:00~20:00 ●県立武道館・奥武山公園
- 第38回沖縄の産業まつり出展者説明会
●時間/14:00~15:30 ●場所/沖縄産業支援センター
- 平成26年度公害防止等国家試験 試験監督員
●時間/08:00~18:00 ●場所/沖縄産業支援センター

特許等取得活用支援事業

知財総合支援窓口

中小企業など知的財産の有効活用をアドバイスします。

ワンストップサービス

秘密厳守

相談無料

- 知財専門家が窓口常駐
- 知財専門家を派遣
- 知財ニーズの発掘
- 知財に関する支援策の紹介
- インターネット出願を支援

個別対応のため予約が必要です



0570-082100 (有料)

窓口運営時間...8:30~17:15 (月~金) ※窓口支援担当者が常駐しています。

※電話、インターネットでお申込ください。
※ご相談頂いた内容は守秘義務により保護されます。

■内閣府沖縄総合事務局委託事業 /
実施：一般社団法人沖縄県発明協会

☎098-921-2666

公益社団法人沖縄県工業連合会は「沖縄の産業まつり」や「県産品奨励月間」などの発行所 / 公益社団法人 沖縄県工業連合会
活動を通して、沖縄経済の自立化を目指しています。那覇市字小嶺1831-1 沖縄産業支援センター6F
●工連ニュースへのご意見ご要望をお待ちしております。Eメールでもご参加ください。電話 (098) 859-6191 FAX (098) 859-6193
E-mail / info@okikouren.or.jp ホームページ / http://www.okikouren.or.jp 編集・印刷 / 有限会社サン印刷 電話 (098) 889-3679

美ら島の魅力がギュッと県産品

第38回「沖縄の産業まつり」開催

沖縄の産業まつり(主催・同実行委員会)は生産者の生産意欲の高揚と県産品に対する消費者意識の啓発に努めるとともに、時代のニーズに対応した新製品の開発と品質の向上を促進し、もって県内外市場の拡大を図ることを目的に行われる県内最大の総合産業展であり、今年で38回目を迎えます。

第38回沖縄の産業まつりは、10月24日(金)から3日間の日程で開催となりましたが、今年も中止となり2日間の開催となりましたが、今年も天気に恵まれ、来場者数も3日間でのべ244,400人と前回は大きく上回りました。

オープニングセレモニーでは、湧川昌秀実行委員会会長、仲井眞弘多沖縄県知事、河合正保沖縄総合事務局局長があいさつし、関係者の手によって華々しくテープカットが行われました。セレモニー終了後には、県産品を代表する商品となりつつあるかりゆしウェアを試着するなど、ブースに展示された商品や受賞作品をじっくり見ながら各会場を視察しました。

今回は一般財団法人沖縄観光コンベンションビューローによる展示もはじめて行われ、離島も含めた県内観光情報を無料配信するなど沖縄のリーディング産業である観光について県民にPRした他、メッセージボードの掲示やパズルといったゲームを利用した異文化理解促進が図られました。また、昨年好評だった「水中可視光通信による水中スパプログラム展」はさらに趣向を凝らし、奥武

山公園プールとアリーナ棟ステージをインターネットで接続したうえで、デモンストラーションの様子を音声と映像でスクリーンに映し出す大がかりな仕掛けで来場者を驚かせました。商工会特産品フェア「ありんくりん市」や県産品展示即売会も連日人で賑わい、訪れた人は沖縄県各地で作られた名産品や加工品を試食するなど思いに産業まつりを満喫していました。



沖縄総合事務局 局長
河合 正保



沖縄県知事
仲井眞弘多



実行委員会会長
湧川昌秀



第1会場:沖縄県立武道館(アリーナ棟)でのようす



開場に先立ち、沖縄県護国神社において「生産増強祈願祭」も厳かに執り行われました。



仲井眞弘多知事を先頭に、関係者による会場視察では、出展事業者から展示された県産品製品について説明を受けました。

第①会場

沖縄県立武道館(アリーナ棟)

沖縄県立武道館アリーナ棟では、「沖縄県優良県産品推奨制度」で推奨されている商品の展示や県産衣料品展示商談会が開催されました。

10月25日(土)には平成26年度沖縄縫製業新展開促進事業も実施され、色鮮やかな、かりゆしドレスシャツやスーツの着こなしが紹介されました。スタイリストの森岡弘氏を招いてのトークショーやスーツスタイルコーディネート指南といった企画には、若年層も大きく興味を引かれたようでした。

他にも沖縄県工芸コンテンツ産業活用促進事業PR展や沖縄県中小企業経営革新展、第43回沖縄県発明くふう展など様々な展示・企画が行われ、アリーナ棟入口にもバイオ燃料事業展にてバイオ燃料(E10・E3)の普及拡大を目的に最新の車やシステムが紹介されました。

アリーナ棟ステージでは省エネ体験教室やこども体験教室など家族で楽しめるイベント企画も多数用意され、館内には笑顔があふれました。



沖縄県推奨優良県産品展



県産衣料品展示商談会



平成26年度沖縄縫製業新展開促進事業かりゆしスタイルブック発表トークショー



沖縄県工芸コンテンツ産業活用促進事業PR展



平成26年度泡盛鑑評会出品酒一般公開



沖縄県中小企業経営革新展



第43回沖縄県発明くふう展



地域の企業 魅力再発見展



産学官技術連携展



中城湾港新港地区モノづくり展



中小企業・小規模事業者試作品開発等支援事業(ものづくり補助金)成果事例展(新)



第2回輝くうちなあ〜企業見本市〜



クレジット制度の紹介及び省エネ体験教室展



沖縄観光コンベンションビューロー展(新)



環境省委託バイオ燃料事業展(蓬莱広場:アリーナ棟入口)



水中可視光通信による水中プログラム展(奥武山公園プール)

第②会場

芝生広場横駐車場

芝生広場横の駐車場には沖縄県内各市町村が推薦する特産品が一堂に会した市町村コーナーが賑わいを見せていました。

第17回商工会特産品フェア「ありんくりん市」では、商工会によるそれぞれの特色や特産品を活かした地域の商品が並びました。沖縄の混合文化の魅力が詰まったバラエティ豊富な品物の数々に、観光客はもちろん、県民からも好評を得ていました。



第17回商工会特産品フェア「ありんくりん市」



市町村コーナー



県産品展示即売会

第③会場

サブグラウンド

サブグラウンドでは県産建材・石材展や農林産業展といった様々なジャンルの展示・即売会が開催され、県産建材や農林産物の消費拡大に大きく役立つものとなりました。県産資材を利用したプレッシャーゲーム等趣向を凝らした企

画も多数催され、家族連れやカップルにも好評でした。
また、実施本部前では巨大な氷を削って彫刻を作り出す氷彫刻実演が今年も行われ、まだ日差し強い秋の沖縄に涼を与えました。



県産建材・石材展



農林産業展



おきなわ技能展



県産品展示即売会



県産品の展示紹介・アトラクション



第④会場

川沿い

国場川に沿って弓道場までの長い通路に、食品や飲料、加工品、工芸品、化粧品と様々なテナントが出展し、活気にあふれた県産品展示即売会となりました。気温が高かったこともあり、オリオンビアガーデンも盛況で、連日多くの人が新鮮な樽生ビールで喉を潤していました。



県産品展示即売会

- 食品飲料コーナー
- 菓子・パンコーナー
- 健康食品コーナー
- 工芸・その他製品コーナー



第⑤会場

陸上競技場外・東側



オリオンビアガーデン

第⑥会場

テニスコート北側



オール電化体験車



陶器市

第38回沖縄の産業まつり 受賞商品の紹介

第43回沖縄県発明くふう展

沖縄県知事賞

【特許・実用新案の部】



最優秀賞

土壌改良のためのリッパー及び土壌改良方法

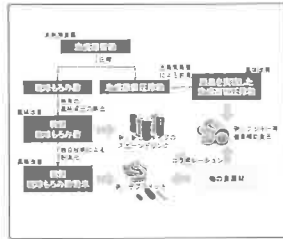
金城一喜
☎(090)3790-8424



優秀賞

微細霧発生装置及び微細霧発生方法

高安正勝
☎(098)983-1111



優秀賞

精製もろみ酢とその製造方法

(株)クレイ沖縄
☎(098)853-9090

一般社団法人 沖縄県発明協会 会長賞

【特許・実用新案の部】

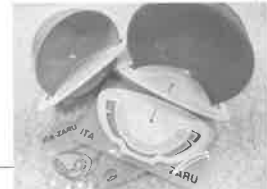
膝関節用装具

(株)佐喜真義肢
☎(098)983-2577



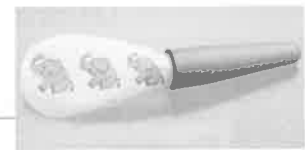
容器補助器具、
濾過補助器具及び
濾過方法(イタザル)

勝丸航白
info@itazaru.jp



はなかみ自助具
(はなかめるゾウ)

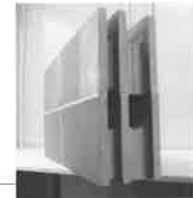
(有)二水商事
☎(098)876-9500



【意匠の部】

建設用ブロック
(遮水ブロック)

(株)照正組
☎(098)945-2233



平成26年度 沖縄県推奨優良県産品



【その他製品の部】

久葉ヌ骨型ミンサー 三線

新城工作所
☎(098)878-2661



【その他製品の部】

琉球音楽演奏用
組太鼓

新城工作所
☎(098)878-2661



【飲食料品の部】

石垣島の塩クッキー

(有)宮城菓子店
☎(0980)84-1747



【生活用品の部】

べっ甲ブラハンド
・藍ヒチガーラ

(株)あざみ屋
☎(0980)82-3473



【その他製品の部】

台風吹上防止版

(株)照正組
☎(098)945-2233



第38回沖縄の産業まつり 協賛企業

第38回沖縄の産業まつりを開催するにあたり、下記の皆様に多大なるご協力を賜りました。
誠に有り難う御座いました。



■メインアーチ
沖縄電力(株)
琉球セメント(株)
オリオンビール(株)
拓南製鐵(株)



■明治橋アーチ
金秀アルミ工業(株)
沖縄ハム総合食品(株)



■ゆいレール奥武山公園駅アーチ
オキコ(株)
沖縄ガス(株)



■広告塔
沖縄ガス(株)
琉球セメント(株)
拓南製鐵(株)
金秀アルミ工業(株)



■総合案内
オリオンビール(株)、オキコ(株)、沖縄電力(株)



■広告板(A)
沖縄ガス(株)
オキコ(株)
拓南製鐵(株)
(株)久米島の久米仙
金秀アルミ工業(株)
琉球セメント(株)
オリオンビール(株)

■広告板(B)
総合紙器(株)
(株)技建
沖縄県酒造組合
琉球ガラス工芸協業組合
昭和製紙(株)

沖縄県金融協会
(株)お菓子のポルシェ
沖縄鑄鉄工業(株)
(株)沖縄県物産公社
(株)ざまみダンボール



■広告板(C)
(株)エムズ
(株)サンデン企画
(株)スカイ企画
(有)モダン広告
砂辺松福テント(株)

【第38回沖縄の産業まつり 協賛企業】 順不同

沖縄ガス(株)

オリオンビール(株)

琉球セメント(株)

沖縄電力(株)

オキコ(株)

拓南製鐵(株)

金秀アルミ工業(株)

(株)久米島の久米仙

沖縄ハム総合食品(株)

沖縄鋳鉄工業(株)

総合紙器(株)

沖縄県金融協会

琉球ガラス工芸協業組合

昭和製紙(株)

沖縄県酒造組合

(株)技建

(株)沖縄県物産公社

(株)お菓子のポルシェ

(株)ざまみダンボール

(株)スカイ企画

(有)モダン広告

(株)サンデン企画

砂辺松福テント(株)

(株)エムズ

(株)バイオマス再資源化センター

(株)サン食品

(有)ハイウェイ沖縄

(株)トリム

(有)津嘉山ステンレス工業

金秀鉄工(株)

日乃出鉄工(株)

南西石油(株)

沖縄テクノクリート(株)

瑞泉酒造(株)

(有)日光建創

(株)ふじ産業

沖縄県生コンクリート工業組合

(株)沖縄ホーム

琉球バイオリソース販売(株)

(株)日進商会

琉球肥料(株)

(株)ポイントピュール

(株)千草物産

(有)比嘉酒造

沖縄広告(株)

(有)大成エンジニア

(株)嘉数グラビヤ

リウコン(株)

沖縄県酒造協同組合

沖縄プラント工業(株)

(株)沖縄村上農園

(有)島八工業所(しまや)

沖電水工事(株)

(株)青い海

南風堂(株)

(株)沖縄敷物商会

大同火災海上保険(株)

(有)沖縄長生薬草本社

沖縄ガスリビング(株)

(株)開邦工業

(株)沖縄ゼネラルサービス

(株)まえさと

(株)電装技研

(株)日進ホールディングス

光文堂コミュニケーションズ(株)

沖縄明治乳業(株)

(有)海邦ベンダー工業

(株)ホクガン

(株)那覇王冠

沖縄三協立山アルミ

沖縄テレビ放送(株)

(株)ファッションキャンディ

農業生産法人(株)小浜養蜂場

農業生産法人(株)仲善

(有)サン印刷

金秀鋼材(株)

タイガー産業(株)

(有)沖縄クリーン工業

沖縄ガルバ(株)

沖縄県衣類縫製品工業組合

(株)佐喜眞義肢

フォーモストブルーシール(株)

(株)佐久本工機

(株)なかむら食品

沖水化成(株)

忠孝酒造(株)

(株)名護鉄工所

(株)立川フードサービス

沖縄製粉(株)

北部製糖(株)

(株)琉堂

(株)ラシーマ

沖縄県赤瓦事業協同組合

東洋コンクリート(株)

(株)フクデンサービスインターナショナル

(株)沖縄トータルサービス

(株)森のガラス館

(有)サクガワ屋

(株)サンエージェンシー



第38回沖縄の産業まつりを
開催することにあたり
多大なるご協力を賜りました。
有り難う御座いました。

「活」にこだわり

地域の魅力発信



イトサン株式会社
代表取締役社長 大城 忠



沖縄の自然が育む
海人の味を全国へ

沖縄食材の定番のひとつとして地域の食堂から県外の郷土料理店まで幅広く知られるもずく。血糖値抑制や免疫力を高める効果を持つとされる「フコイダン」を主成分とし、ビタミンやミネラルも豊富に含んでおり、健康食品としても注目されています。

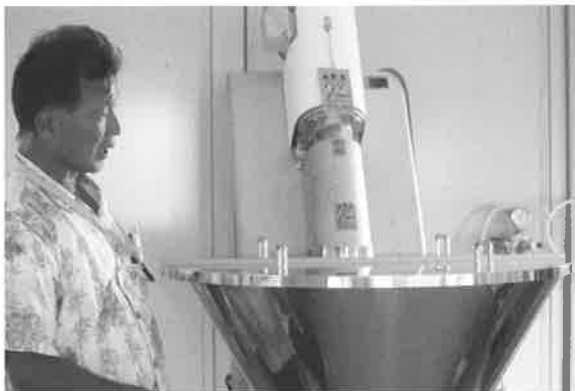
昭和63年の開業以来、糸満市でもずくの栽培、加工、販売を続けてきたイトサン株式会社では、これまで生産者しか口にするここのできなかった「本場のもずくの味」をより多くの人々に知ってもらいたいという思いから、3月から6月の期間限定で活もずくを販売しています。天然漁場栽培により、沖縄の太陽光をたっぷり浴び、美しい海水からミネラルを吸収して成長したもずくを朝一番に収穫し、水揚げ後は保冷専用車を使って低温輸送、とれたてのもずくをその日のうちにチルドパックし、発送することにより、古くから海人(うみんちゆ)が食していた伝統的なもずくの味を鮮度を保ったまま全国へ届けることができます。

新鮮な活もずくはツルツとした喉ごしと、歯ごたえに、ほのかな磯の香りもあり、栄養価も高いイトサン株式会社代表取締役大城忠氏は話します。「当社の活もずくを海水に入れ、日光にあてて30分ほど置くと、ふつふつと気泡が出てきます。これはもずくが呼吸している証拠であり、活きたもずくそのものの味を楽しんでいただけます」。

イトサン株式会社では、活もずく、生もずくの他にも、もずくスープやもずくラーメン、モスク入りそうめんなど様々な加工品も開発しており、本場の味を手軽に楽



ニヌファアブシ(北極星)とは、航海の時、船の進むべき方向を照らし、教える重要な星ということ。「世の中の目標となる星になりなさい。」という意味も持つ沖縄のことばです。



最新機器導入により、1日30000パックのもずくスープ生産が可能になりました。

しめる乾燥商品は、沖縄県内のみならず県外でも長く愛されています。現在ではその種類も30を越えたため、今年には新たに最新機器を導入、それまで手作業だった計量や袋詰めといった工程を一部機械化することにより、生産量を約3倍にまで増やすことに成功しました。コストが抑えられた分、新商品開発にもさらに力を入れていきたいと大城氏は意欲を燃やしています。また、株式会社赤マルソウと合同でもづくりに使用する「たれ」を製造するなど、他社との連携にも積極的です。



さらには「一般家庭でももずくに親しみを持ってもらいたいと、もずく料理レシピコンテストも主催。炒めものや炊き込みごはん、もずくを練りこんだケーキやマフィンなどのスイーツにいたるまでアイデアの詰まったもずくレシピを多数輩出しています。「受け身のままでいては進化の可能性を失

つてしまう。常に新しい手法や斬新な商品を提案していかなくては」と大城氏は語ります。

**創業当時から持ち続ける
6次産業・地域貢献のこだわり**

大城氏が新しいアイデアにこだわる理由のひとつに、環境の変化や世代交代によつてもずく漁師や沿岸漁業者が減りつつある現状への危機感があります。また、漁場が減少し、安定した収入が得られなくなった時期もあったといい、他のもずく生産者・漁協からも、もずくを譲り受けることでどうか繋いでいたと当時の厳しい状況を振り返ります。

現在は生産量も少しずつ安定しつつあるということですが、生産と販売のみに収まっているだけでは生き残っていけないと常に改善を追い求めています。加工品のみならず、ブルーツーリズムにも着手。観光客や



地域の子供たちを漁場に案内し、もずく漁を体験することで楽しく学習することができます。新たな観光コンテンツを推進しています。

「もずく漁を自分の目で見て、生のもずくに実際にふれることによって、自然の大切さを実感することが出来ます。沖縄の海の恵みを目、耳、鼻、手で実感し、もちろん舌でもとれたてのもずくを味わえるのが魅力です。将来的にはもっと幅広いサービスを準備して、『海の遊園地』と呼ばれるようにまでしたいですね」と大城氏は目標を話します。

「ダイビングやバーベキューといった沖縄の海や山などの自然を利用した観光コンテンツやサービスはたくさんあるが、旅行会社や代理店が主導権を握ったものがほとんどで、生産者が主体となったコンテンツはほとんどない現状がもどかしい」と話し、「これからは生産者側もただ栽培収穫するだけでなく、観光客を喜ばせた



り次世代を担う子供たちの興味を刺激する工夫が必要だ」という持論を展開しています。観光をはじめとする様々なコンテンツを取り入れることで収益のパターンを増やし、収穫が不安定な状況にも対応が可能になるといいます。

「子供たちや観光客にもずく漁を体験してもらい、後継者の育成とともに水産資源への関心を持つていただき、古き良き糸満の海人の歴史を後世へ引き継いでいきたい。それが自分たちの使命であると考えます」

食を通して県民の健康と自然環境を守り、また地域社会の発展にも貢献するという理念に基づいて、今後もさらに創意工夫を重ね、新しい海人のあり方を提案していきたいと話すと大城社長。地元糸満への愛情ともずく商品に対するこだわりが、一本の太いもずくにたぐりつと詰まっているかのようでした。

イトサン株式会社

業 種 もずく製造卸販売業
水産食品製造業

設 立 昭和63年11月

代 表 者 大城 忠

住所・連絡先 沖縄県糸満市字糸満2032番地
098-995-1896

オフィシャルサイト <http://www.mo19.com/>



ちばりよ〜県産品

沖縄オートメーション株式会社

●本社／沖縄県名護市東江5-13-17
TEL.0980-52-1528・FAX.0980-52-2045



構内には、様々な業種に対応できる専門機器が立ち並ぶ。

沖縄のものづくり産業を支える 縁の下の力持ち

昭和47年に宮里産業技術研究所として創業した沖縄オートメーション。おもな業務は企業や工場の機械自動化（オートメーション）とその管理です。通常の業務では行き届かない細かい作業や人件費を圧迫する単純作業を機械化することによって、運転時間の短縮、コストの削減を図るものです。

代表取締役を務める宮里佳孝氏は、先代から続く社のポリシーとして「地元企業だからこそ可能な気配りとスピード」を重視しています。飲料メーカーや製糖工場等様々な業種のクライアントを持ち、定期的な点検に回る他、さらなる合理化の提案も積極的にを行っています。県外の同業他社と比べコストをできるだけ抑え、それぞれの業種や予算に合った自動化、省力化を共に考えることで厚い信頼を得ています。

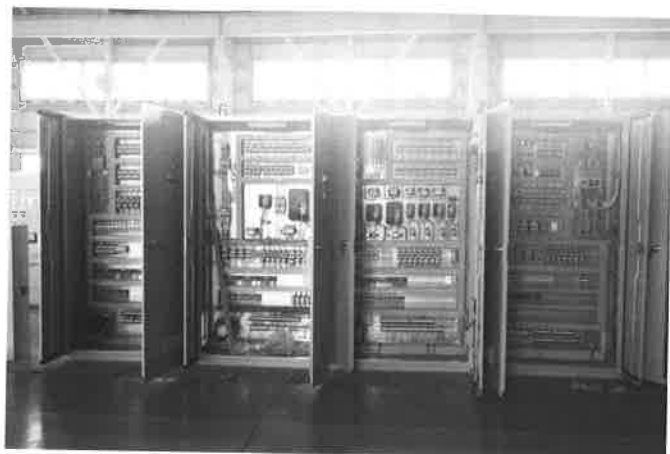
沖縄本島内ばかりでなく、離島や奄美大島の工場にもメンテナンスのため定期的に訪問、機器の故障等トラブル発生の際には即座に駆けつけます。「安定した商品製造・供給のためには常に工場を稼働しなければならず、一日でもラインをストップさせれば企業の業績に悪影響が出てしまう。地元企業として迅速な対応を取ることで、企業を支えることができれば」と宮里

氏は話します。目立たない作業だけに、消費者に意識されることはほぼ無いといいますが、沖縄のものづくり産業界において不可欠な存在として、日々県内の工場を駆け巡る日々を送っています。

時代の流れによって製造業の工程も常に変化しており、新しい機器や技術を取り入れる努力も必要だといいます。システムの組合せや機器の選択といった細かいところまで綿密に計算し、企業にマッチした改変を行うためにも、現場の中に入って実際に製品を作る社員と意見を交わしながら計画を立てていくことが重要だと宮里氏は考えています。

「技術半分、人間性半分。いずれかが欠けていては良い仕事はできません。技術スタッフの方の要望を取り入れ、自分が実際に毎日機械を動かすことを想像して案を出します。現状に満足するのではなく、常に研究開発を繰り返し、クライアントの期待を越えるものを作り続けたいですね」

機械を扱う仕事だからこそ、人と人とのつながりを大切にしたいと語る宮里氏の情熱が縁の下の力持ちとしてこれからも沖縄のものづくり産業を支え続けます。



沖縄オートメーション(株)
代表取締役 宮里佳孝氏

地理的表示法に関する説明会

平成26年10月27日(月) 那覇第2地方合同庁舎1号館



内閣府沖縄総合事務局
農林水産部総務調整官
伊元武信氏



農林水産省食料産業局
新事業創出課課長補佐
伊藤里香子氏



特定農林水産物等の名称の保護に関する法律(地理的表示法)が今年6月成立、公布されました。

地域において長年培われてきた独自の生産法や気候・風土等生産地の特性により高い品質と評価を誇る産品は日本全国に多く存在し、それらの名称を知的財産として保護することを目的に制定された法律です。

農林水産物・食品のうち、特定の地域で生産され、品質その他の特性が生産地に主として帰せられるもの(特定農林水産物等)の生産者団体であり、生産工程や品質の管理を行う能力を有するものに限り、その名称である地理的表示の登録を農林水産大臣に申請することができますというものです。

地理的表示保護制度導入により、生産業者の利益保護と同時に、農林水産業や関連産業の発展、消費者の利益につながられる取り組みが期待されています。

公布を受け、各地方農政局等のブロックにおいて説明会が実施され、沖縄県でも10月27日那覇第2地方合同庁舎において開催されています。

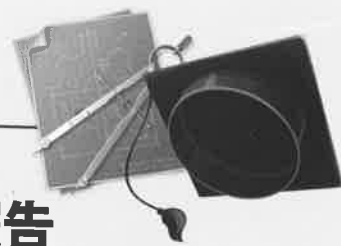
開会のあいさつを務めた内閣府沖縄総合事務局農林水産部総務調整官伊元武信氏は、「特徴ある素材を多数持つ沖縄においてはこれまで以上に県産品の価値を高める大きなチャンスとなるはず。生産者や地域が潤うようなシステム作りができれば」と今後の展開に期待感を示しました。

農林水産省食料産業局新事業創出課課長補佐伊藤里香子氏による地理的表示法の解説では、農林水産物・食品の地域ブランド化の取り組みや法施行に向けたスケジュール、関連予算についてなど様々な情報が紹介され、登録及び規制の対象となる農林水産物等の基準や生産地の範囲、複数の生産者団体が存在する場合の対応等の質問にも答えました。

伊藤氏は、「沖縄の自然的特性や歴史・文化を活かして地域ブランドを確立することによって産品の価値をこれまで以上に高めることができる。新しく制定された地理的表示法を今後の産業に活用してもらいたい」とし、農林水産業及び関連産業の発展に期待を寄せていました。



琉球大学工学部後援会からのお知らせ



平成26年度工学部後援会総会 開催報告

工学部後援会事務局 堤純一郎・中田幸造

平成26年10月2日(木)17時からホテルロイヤルオリオンにて、平成26年度工学部後援会の総会および懇親会が開催されました。総会では、知念克明会長のごあいさつに引き続き、知念会長の議事進行で議案審議に入りました。議事次第に則り、まず、平成25年度事業報告(第1号議案)と決算報告(第2号議案)、および、平成26年度事業計画案(第3号議案)と予算案(第4号議案)について、本年度事務局の中田幸造准教授が説明しました。その後、第5号議案で屋我実副会長(琉球大学工学部 社会連携担当副学部長)以下の平成26年度新役員が紹介され、第6号議案において、「新しい就職活動に関する提案に基づく工学部後援会会員企業による就職説明会の日程」について審議が行われました。その結果、第1号議案、第2号議案、第3号議案、第4号議案、第5号議案の全てに対して承認され、第6号議案は「3-(2)従来の12月説明会に新指針の2回を加えて3回実施する案」が承認されました。最後に、高良富夫工学部長のあいさつで総会は滞りなく終了しました。会員団体・企業からは79名の参加がありました。

総会の後、17時30分より懇親会(司会:金城寛教授)を開催しました。知念克明会長から抱負が述べられた後、つづいて来賓の牧野守邦様(沖縄総合事務局経済産業部)、安井哲也様(総務省沖縄総合通信事務所)、大城肇 琉球大学学長のあいさつ、そして湧川昌秀様(沖縄県工業連合会会長)の「カーリーさびら!」の乾杯で開幕しました。前年度に引き続き、後援会から援助を受けた学生(11名)による研究テーマや発表学会などの報告も行われました。最後に高良工学部長の後援会への謝辞で会を終了しました。懇親会は、役員や会員団体・企業の他、多数の来賓を迎え、総計100名の参加者を得ました。



知念会長の開会のあいさつ



総会の様子



工学部長あいさつ



懇親会歓談の様子



来賓あいさつ(牧野様)



来賓あいさつ(安井様)



歓談の様子

お問合せ先

琉球大学工学部後援会事務局(環境建設工学科内)

TEL:098-895-8655・8676 FAX:098-895-8677



2014沖縄ポリテックビジョンのご案内

沖縄発! ものづくり・イづくり

POLYTEC VISION POLYTEC VISION POLYTEC VISION

みんなもいっしょに
楽しくがんばろう!

2014 沖縄ポリテックビジョン

おきなわ 入場無料

記念公演 13:30~15:00 作品展示等 10:00~16:30

内容

記念公演 13:30~15:00
 沖縄電子出版協会の特別公演、株式会社時代文芸マーケティングの特別公演、株式会社デジタルコンテンツ配信、沖縄県庁の特別公演
根本 伸司氏
「デジタルでかわる本の世界」

10:00~16:30 作品展示等

- 学生及び共同研究製作作品の展示・説明コーナー
- ものづくり体験コーナー(地域の小学生、中学生を対象)
- 学生自治会が企画するイベントコーナー(エイサー・模擬店等)
- 入学相談コーナー ● 企業展示コーナー

主催
 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
沖縄職業能力開発大学校

お問い合わせ先
 〒904-2141 沖縄県沖縄市池原 2994-2
TEL.098-934-6282 FAX.098-934-6287

時間 10:00~16:30
場所 沖縄職業能力開発大学校

2014 11月16日

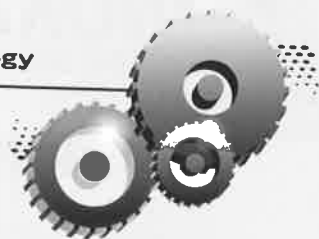
<http://www3.jeed.or.jp/okinawa/college/>

お問合せ先

独立行政法人高年齢・障害・求職者雇用支援機構 **沖縄職業能力開発大学校** (援助計画課 大根・赤嶺)

〒904-2141 沖縄県沖縄市池原2994-2 TEL. 098-934-6282・FAX.098-934-6287

<http://www3.jeed.or.jp/okinawa/college/> ●メルマガ会員募集中 <http://www.jeed.or.jp/general/merumaga/index.html>



「航空技術者プログラム」プレス発表

沖縄高専は、同校キャンパス内にて10月6日、来年度4月より開設する「航空技術者プログラム」のプレス発表を行いました。

報道各社に向けて行われた本プレス発表では、同校伊東繁校長より開設されるプログラムについての概要説明と、開設に至った背景について説明が行われました。

プログラムは、アジアの航空旅客需要の高まりや、国産航空機の開発が進められていること、那覇空港内に航空機整備基地が誘致される予定となっていることを踏まえ、世界に羽ばたく航空技術者を養成することを目的として開設され、本科4・5年と専攻科1・2年の4年間のプログラムで来年4月より開始されます。

集まった報道各社からは、対象となる学生や

プログラムの内容について様々な質問が寄せられ、国立高専で初のプログラム開設への関心と期待の高さが伺えるプレス発表となりました。

なお、本プログラムについては後日、同校ホームページに特設ページが設置され、詳しい内容が掲載される予定です。



プレス発表にて報道各社からの質問に回答する沖縄高専伊東繁校長

航空技術者プログラム新規開設にあたって

本校は、55番目の工業高等専門学校として平成14年に開校し、平成16年4月に第一期生を迎え、「人々に信頼され、開拓精神あふれる技術者の育成により、社会の発展に寄与する」ことを理念として、学生の教育を行ってきました。

そして、来年度4月より沖縄高専において、航空技術者プログラムが開設されます。その開設の背景として、現在わが国では、経済産業省が打ち出した『産業構造ビジョン』とよばれるビジョンにおいて、航空機産業を戦略産業として積極的に育成すると位置づけました。次世代環境航空機の世界拠点として、航空機産業を高付加価値化するとし、そのインセンティブの一つとして、三菱航空機によって40年ぶりに生産される旅客機であるMRJ(Mitsubishi Regional Jet)の全機静強度試験が始まりました。加えて、新興国における地上交通から航空へのシフト、主にアジア地域においては、今後旅客需要が飛躍的に伸びる見込みとなっています。また、沖縄県は那覇空港内に本格的な航空機整備基地の誘致を行う予定であり、小型旅客機の整備需要は今後大幅な増加が見込まれます。

沖縄高専として、今後の日本の航空機産業において、地域社会に貢献すること、優秀な航空技術者を育成することは、高等教育機関の使命の一つと考えています。さらに、本プログラムを修了した学生が、現代の急激な産業構造の変化に耐え抜き、グローバル時代において世界に通用する人材として活躍していくものと私は確信しています。どうぞ、これから新たなプロジェクトに挑戦する沖縄高専に対し、皆様のご指導ご鞭撻よろしく申し上げます。



沖縄工業高等専門学校
校長 伊東 繁

お問合せ先

沖縄工業高等専門学校産学連携協力会事務局 (担当:喜屋武)

〒905-2192 名護市字辺野古905番地 TEL:0980-50-0133・FAX:0980-55-4012

E-mail:sangaku@m1.cosmos.ne.jp ホームページ: <http://www.cosmos.ne.jp/~sangaku/index.html>



O I T C

Okinawa industrial technology center

技術支援事例の紹介 試作加工技術

お米やパスタに便利な水切り器の開発

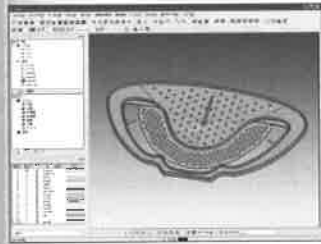
削り出しによる試作品の製作

支援の背景

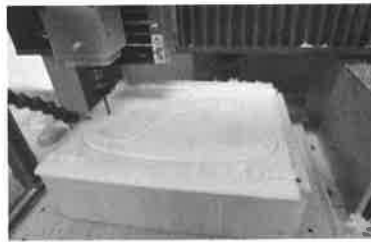
アウトドア用品を販売している「LEBOWSKI」では、ボールなどの容器にはめ込んで、お米やパスタなどの水切りを行う新しい形状の水切り器を考案し、特許発明となりました(H26.10)。そこで製品化に向けて、強度や使い勝手の確認のため、実際の材料(ナイロン)を用いて試作品を製作することになり、当センターに協力依頼がありました。

支援内容

「LEBOWSKI」から頂いた3Dデータを元に、自動加工用の加工データを作成しました。その後、数値制御で自動加工が行える加工機(マシニングセンタ)を使用し、ナイロンプレートを切削加工して試作品を製作しました。この試作品を用いて性能を確認後、設計に改良を加え、何度か試作を行いました。



3Dデータ

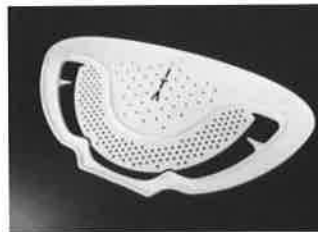


マシニングセンタによる加工

支援の成果

試作品を実際に使用して、デザインや強度、使用感などを確認でき、より良い製品を開発することができました。

これをもとに「LEBOWSKI」では、金型を製作して、量産、販売をしています。



金型で成形した水切り器

※第43回沖縄県発明くふう展 (一社)沖縄県発明協会 会長賞受賞

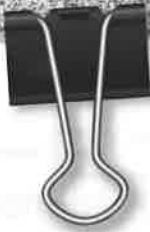
連絡先：沖縄県工業技術センター 〒904-2234 沖縄県うるま市州崎12番2 TEL：098-929-0111 FAX：098-929-0115

<http://www.pref.okinawa.jp/site/ahoko/kogyo/index.html>

お問合せ先

沖縄県工業技術センター 企画管理班(担当:花ヶ崎)

TEL:098-929-0111 FAX:098-929-0115 E-mail:hangskit@pref.okinawa.lg.jp



第50回 琉球新報賞 贈呈式

経済・産業界、沖縄振興、芸術・文化の発展に尽力した人物に贈られる琉球新報賞の贈呈式・祝賀会が那覇市のパシフィックホテル沖縄で開催されました。

本年度の沖縄振興功労には元副知事であり、また、元国場組会長、前沖創建設会長の宮城宏光氏と元副知事で前沖縄市長の東門美津子氏の両名が受賞。

経済・産業功労には、本会会員企業である株式会社ホクガン会長の上原武市氏が受賞されました。また、社会・教育功労には、元美ら海水族館館長の内田詮三氏、文化・芸術功労に国立劇場おきなわ運営財団理事の三隅治雄氏が選出されています。会場には約350人が訪れ、受賞を祝福しました。

第50回と大きな節目を迎えた本年度の受賞に、富田詢一琉球新報社社長はこれまでの50回の歴史を振り返りながら受賞者の功績を称え、「今後も沖縄の発展のため後進の育成等に大いに力を発揮していただきたい」と挨拶しました。

「アンマーの味」をコンセプトに様々な加工品を通して県産品を県外に広めた技術力と商品開発力が認められ、受賞した株式会社ホクガンの上原武市会長は、「このような賞をいただくことができたのは光栄の極み。これからも沖縄の昔ながらの味を広く伝えていくため社員とともに一步一步歩いていきたい」と感謝を述べました。



喜びの弁を述べる
株式会社ホクガン会長 上原武市氏

公益社団法人沖縄県工業連合会 会員募集のご案内

公益社団法人沖縄県工業連合会は、昭和28年5月に「沖縄県における工業の育成及び振興を図り、もって県経済の発展に寄与する」ことを目的に創立されました。現在では、製造業を中心に約400社の会員を有し、毎年7月の「県産品奨励月間」や「沖縄の産業まつり」などを

とおして、県内製造業並びに関連産業の振興発展に寄与するため鋭意努力しております。本会の主旨に賛同していただける方なら規模の大小は問いませんので、ご入会をお待ちしております。お気軽に事務局までお問合せください。

会員への主なサービスならびに特典

- 機関誌「工連ニュース」や電子メール等による各種情報サービスの提供
- 経営者や従業員を対象とした講習会、技術・経営セミナーなどの案内
- 公設試験研究機関との連携による技術力向上に関する事業などへの参加
- 県産品奨励月間事業(7月)における国・県・市町村、食品・建材大口需要者などに対する要請活動への参加
- 「県産品マーク」の取得
- 本会のインターネットホームページによる会員企業の紹介
- 「沖縄の産業まつり」の出展料の優遇
- 従業員表彰制度の活用(優良従業員・創意工夫功労者・優秀技能者)
- (一社)沖縄県発明協会との連携による産業財産権に関する情報提供など



会員の皆様へ 「工連ニュース」で自社の商品をアピールしてみませんか？

会員の皆様方には平素より本会機関誌「工連ニュース」の事業活動についてご理解・ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

「工連ニュース」では会員サービスの一環として会員の新品などを紹介するコーナーを設けています。事業のPR、新商品の紹介などに積極的にご利用下さい。

掲載
無料

●お問合せ先

公益社団法人沖縄県工業連合会 TEL.098-859-6191 担当：座間味

平成26年度 中小企業者のための沖縄県制度金融のご案内

H26.10.1現在

| 融資条件等 | | 融資対象 | 融資限度額 (単位 万円) | 融資期間 (据置期間) | 融資利率 (固定) % | 保証 料率 | 融資斡旋・認定等 申込先 |
|----------------------|-------------|---|---|---|-------------------|-----------|---|
| 資金名 | | | | | | | |
| 短期運転 | 一般貸付 | 短期的な運転資金を必要とする中小企業者 | 運転のみ1,000 | 1年 | 2.20 | 0.45~1.50 | 琉球銀行 沖縄銀行 沖縄海邦銀行 コザ信用金庫 商工組合中央金庫 |
| | 売掛債権担保貸付 | 他の事業者等に売掛債権を有する中小企業者 | 運転のみ3,000 | | | 0.43 | |
| 小規模企業 | 一般貸付 | 従業員20人以下の企業(商業・サービス業は5人以下)※宿泊業及び娯楽業は20人以下 | 運転・設備併せて1,250 | 運・7年(1年) 設・10年(1年) | 2.25 | 0.45~1.45 | 商工会 商工会議所 市町村商工担当課 |
| | 特別小口貸付 | 中小企業信用保険法に規定する特別小口保険該当者に対する無担保無保証人制度 | | | | 2.10 | |
| 小口零細企業 | | 従業員20人以下の企業で、既存の保証協会の保証付融資残高との合計が1,250万円以下の小規模企業者(商業・サービス業は5人以下)※宿泊業及び娯楽業は20人以下 | 運転・設備併せて既存の保証協会の保証付融資残高との合計で1,250 | 運・7年(1年) 設・10年(1年) | 2.10 | 0.50~1.75 | 琉球銀行 沖縄銀行 沖縄海邦銀行 コザ信用金庫 |
| 経営振興 | | 経営の近代化、合理化を図る中小企業者、協同組合等 | 運転・設備併せて8,000 (運転 3,000) (設備 5,000) (運転2,000、設備5,000) | 運・7年(1年) 設・10年(1年) | 2.40 | 0.45~1.50 | 琉球銀行 沖縄銀行 沖縄海邦銀行 コザ信用金庫 商工組合中央金庫 |
| 新事業分野進出 <※利子補給対象> | | 事業転換や多角化により新たな事業分野に進出する中小企業者、協同組合等 | ●事業転換の場合 運転・設備併せて10,000 (運転3,000、設備7,000) ●多角化の場合 運転・設備併せて7,000 | 運・7年(1年) 設・10年(1年) | 2.30 | 0.45~1.40 | 県産業振興公社 商工会 商工会議所 |
| 雇用創出促進 <※利子補給対象> | | 事業拡大や多角化計画に基づき、新たに常時使用する従業員を1名以上雇い入れようとする中小企業者、協同組合等 | 運転・設備併せて8,000 (運転 3,000) (設備 5,000) | 運・7年(1年) 設・10年(1年) | 2.00 | 0.45~1.45 | 商工会 商工会議所 |
| 組織強化育成 | 一般 | 商工業関係組合及び構成企業 | 1組合あたり 共同事業資金 5,000 転貸資金 30,000 (※1転貸先 3,000) | 運・7年(1年) 設・10年(1年) | 1.45 (ただし変動あり) | 0.45~1.45 | 県中小企業団体中央会 |
| | セーフティネット | 売上の減少等により資金繰りが厳しくなっている商工業関係組合及び構成企業 | 1組合員あたり3,000 ※転貸資金は一般貸付のみ | | | 0.60 | |
| 中小企業セーフティネット | | ●売上の減少等により資金繰りが厳しくなっている中小企業者、協同組合等 ※原油・原材料の高騰により資金繰りが厳しい中小企業者、協同組合等を追加 | 運転・設備併せて3,000 ※設備資金はセーフティネット保証第3号、第4号又は第5号の適用を受ける場合のみ | 運・7年(1年) ※セーフティネット保証第3号、第4号又は第5号の適用を受ける場合は運・7年(1年)、設・10年(1年) | 2.10~2.30 | 0.45~1.40 | 琉球銀行 沖縄銀行 沖縄海邦銀行 コザ信用金庫 商工組合中央金庫 ※市町村商工担当課(セーフティネット保証認定) |
| 中小企業再生支援 | | 沖縄県中小企業再生支援協議会等の支援を受け再生計画・経営改善計画を策定した中小企業者、協同組合等 ※「おきなわ経営サポート会議」を追加 | 運転・設備併せて8,000 | 運転・設備10年(1年) | 取扱金融機関所定金利 | 0.45~1.40 | 県中小企業再生支援協議会 |
| 資金繰り円滑化借換 | | (対象1) 4分の1以上償還した沖縄県信用保証協会の保証付き融資を借り換える者 | 運転・設備併せて5,000 | 10年(6ヵ月) | | 2.70 | 0.45~1.40 |
| | | (対象2) セーフティネット保証の市町村による認定を受け、かつ借換事業計画書を作成している者 | | | | 2.60 | 0.55 |
| 産業振興 | オキナワ型産業振興貸付 | 県内において、地域特性を生かした比較優位性のある産業「オキナワ型産業」を営む中小企業者、協同組合等 ※「観光産業」を追加 | 運転・設備併せて10,000 (運転 5,000) | 運・7年(1年) 設・10年(1年) | 2.20 | 0.45~1.40 | 琉球銀行 沖縄銀行 沖縄海邦銀行 コザ信用金庫 商工組合中央金庫 ※商工会・商工会議所(観光産業のみ) |
| | 企業立地推進貸付 | 国際物流拠点産業集積地域、情報通信産業特別地区等において、工場、事業所等を設置しようとする中小企業者、協同組合等 | 運転・設備併せて25,000 (運転 10,000) | 運・10年(1年) 設・15年(3年) | 2.20 | 0.45~1.40 | 県中小企業支援課 |
| ベンチャー支援 <※利子補給対象> | | ベンチャービジネスを展開する中小企業者、協同組合等※経営革新の承認を受けた企業も対象 | 運転・設備併せて3,000 | 運・7年(1年) 設・10年(1年) | 2.40 | 0.45~1.40 | 県産業政策課 県中小企業支援課 |
| 創業者支援 | | 独立・開業を行う者又は開業後1年未満の事業者 | 運転・設備併せて1,000 | 運転・設備7年(1年) | 2.30~2.40 | 0.45~1.35 | 県産業振興公社 県商工会連合会 商工会 商工会議所 |

※1 融資条件等については、年度途中で変更する場合があります。

※2 保証料率は、資金の種類及び融資対象者の経営状況等の情報に基づき決定(詳細は沖縄県信用保証協会までお問い合わせ下さい。)

沖縄県商工労働部中小企業支援課 TEL(098)866-2343
 沖縄県産業振興公社経営支援課 TEL(098)859-6237

沖縄県信用保証協会 TEL(098)863-5300
 沖縄県中小企業団体中央会組織課 TEL(098)859-6120



スイッチをつけると

照明が部屋を明るく照らす。

ボタンひとつでテレビがついて、

電子レンジは夕食を温めてくれる。

会社のパソコンが、工場の機械が、

人々の仕事を助け

暗くなると街灯はいつの間にか

夜道をやさしく照らしている。

意識することなく

毎日の暮らしの中にある電気。

その電気を確実に

あなたのもとへ届けること、

それが私たちの仕事です。

毎日の暮らしの中で意識されないこと。

あたり前と感じてもらえること。

今日もスイッチをつければ

何事もなく明かりがつくこと。

それが私たちの誇り。

必要な人、待っている人、その暮らしの中へ

今日も確実に、
安全に。



地域とともに、地域のために



沖縄電力